

TSIHD
3~11月

11.1%増収の1154億円

百貨店向け復調 EC事業も急回復

TSIホールディングス(HD)の22年度第3四半期(22年3~11月)連結決算は、売上高が前年同期比11.1%増の1154億円、営業利益は28.1%減の37億2000万円となった。営業利益が減益となったのは、本社移転に伴う一過性費用計上(累計で8億7000万円)などによるもので、実力値は46億円程度とみている。増収は主力の百貨店販路のレディスブランドが復調したことと、市場変化に対応が遅れて上期振るわなかったEC事業が急回復したことによる。下地穀社長は、「稼ぐ力は確実に取り戻している。インバウンド(訪日外国人)需要の回復も追い風」と話した。復調傾向は続くが、通期の業績見通しは据え置いた。

(永松浩介)

力強い売り上げ増は、レディ
スブランドとECの回復による
もの。ファッションキャピタル
と呼ぶ、百貨店を中心とし
たブランドをめぐったドメイ
ンの売上高は255億円、16%伸
ばした。「ヒューマンウーマ
ン」「アドア」「ル・フィル」
などが好調。実店舗全体では17
・4%増で、うち百貨店販路は
44.3%伸ばした。百貨店は、
撤退ブランドの影響を受けなが

流コストの改善とEC事業の出
荷能力の拡大を狙いとす。

らも前期を上回った。
ゴルフやアウトドアのドメイ
ン(365億円)も19.6%増
と高成長しており、「ハフ」な
どを擁するストリーートのドメイ
ン(414億円)も3.8%増
と堅調だった。

EC事業(311億円)は、
第3四半期では8.9%伸ば
し、累計で1%増と再浮上。コ
ンテンツの拡充や店舗と連動し
たイベントの実施により顧客を
増やしたことが効いた。

通期の見通しは、昨年上方修
正した売上高1540億円、営
業利益18億円を変更しない。な
お、期中に主力物流拠点の一部
を千葉から横浜に変更した。物